

まいごの子犬

3年 物語文 9番

名前

雨がふり始めた夕方、たくみが公園のそばを通りかかると、木の下で、小さな子犬が一ぴき、ぶるぶるとふるえていた。首には、赤いリボンがついている。「まいごかな。」たくみは、そっと近づいた。

子犬は、たくみを見上げて、「くうん」と細い声で鳴いた。その目は、こわがっているようで、かなしそうだった。たくみは、ぬれた子犬をそっとだき上げた。あたたくて、心ぞうがどきどきと早く鳴っているのがわかった。「大じょうぶだよ。」たくみは、家に走って帰った。

次の朝、たくみは、子犬をつれて公園へ行った。すると、女の子が一人、大きな声でなきながら、何かをさがしていた。「ころ、ころ、どこ？」その声を聞いて、子犬が、たくみのうででぴくんと動いた。そして、うれしそうにしっぽをふり始めた。たくみは、すぐにわかった。「この子の名前、ころ、っていうのかな。」

たくみが子犬をわたすと、女の子は、ぱっと顔をかがやかせた。「ころ！さがしてたんだよ。」女の子は、子犬をぎゅっとだきしめて、なんども「ありがとう」と言った。たくみの心は、雨あがりの空のように、ぱっと明るくなった。子犬とすごした一日を、たくみはずっとわすれないだろう。



School Stock 『まいごの子犬』より

(1) たくみが子犬を見つけたのは、いつ・どこですか。文しよから書きぬきましょう。

(2) ぬれた子犬をだき上げたとき、たくみの「心ぞうがどきどきと早く鳴っている」とありますが、これはたくみのどんな気持ちを表していますか。書きましよう。

(3) 子犬が、うれしそうにしっぽをふり始めたのはなぜですか。正しいものを一つえらびましよう。

ア おなががすいていたから

イ かい主の女の子の声を聞いたから

ウ 雨がやんだから

エ 公園であそびたかったから

(4) 女の子に子犬をわたしたときのたくみの気持ちが分かる一文を、文しよから書きぬきましょう。

(5) この物語を読んで、あなたが考えたことを書きましよう。

例えば

「こまっている生き物を見たら、助けてあげたいと思った。」
「ゆうきを出して行動することは、大切だと感じた。」

まいごの子犬

解答

3年 物語文 9番

名前

雨がふり始めた夕方、たくみが公園のそばを通りかかると、木の下で、小さな子犬が一匹き、ぶるぶるとふるえていた。首には、赤いリボンがついている。「まいごかな。」たくみは、そっと近づいた。

子犬は、たくみを見上げて、「くうん」と細い声で鳴いた。その目は、こわがっているようで、かなしそうだった。たくみは、ぬれた子犬をそっとだき上げた。あたたくて、心ぞうがどきどきと早く鳴っているのがわかった。「大じょうぶだよ。」たくみは、家に走って帰った。

次の朝、たくみは、子犬をつれて公園へ行った。すると、女の子が一人、大きな声でなきながら、何かをさがしていた。「ころ、ころ、どこ？」その声を聞いて、子犬が、たくみのうででぴくんと動いた。そして、うれしそうにしっぽをふり始めた。たくみは、すぐにわかった。「この子の名前、ころ、っていうのかな。」

たくみが子犬をわたすと、女の子は、ぱっと顔をかがやかせた。「ころ！さがしてたんだよ。」女の子は、子犬をぎゅっとだきしめて、なんども「ありがとう」と言った。たくみの心は、雨あがりの空のように、ぱっと明るくなった。子犬とすごした一日を、たくみはずっとわすれないだろう。



School Stock 『まいごの子犬』より

(1) たくみが子犬を見つけたのは、いつ・どこですか。文しよから書きぬきましよう。

(例) 雨がふり始めた夕方、公園のそば(の木の下)。

(2) ぬれた子犬をだき上げたとき、たくみの「心ぞうがどきどきと早く鳴っている」とありますが、これはたくみのどんな気持ちを表していますか。書きましよう。

(例) まいごの子犬を心配し、なんとか助けてあげたいと思う気持ち。

(3) 子犬が、うれしそうにしっぽをふり始めたのはなぜですか。正しいものを一つえらびましよう。

ア おなががすいていたから

イ かい主の女の子の声を聞いたから

ウ 雨がやんだから

エ 公園であそびたかったから

(4) 女の子に子犬をわたしたときのたくみの気持ちが分かる一文を、文しよから書きぬきましよう。

たくみの心は、雨あがりの空のように、ぱっと明るくなった。

(5) この物語を読んで、あなたが考えたことを書きましよう。

(例) こまっている生き物や人に、やさしく手を差しのべることの大切さを感じた。

例えば

「こまっている生き物を見たら、助けてあげたいと思った。」
「ゆうきを出して行動することは、大切だと感じた。」

問1 （例）雨がふり始めた夕方、公園のそば（の木の下）。

はじめの段落の「雨がふり始めた夕方」「公園のそば」「木の下」から、いつ・どこかを読み取ります。

問2 （例）まいごの子犬を心配し、なんとか助けてあげたいと思う気持ち。

「どきどき」は、心配やきんちょうを表します。「大じょうぶだよ」と声をかけ、家へ走った行動からも、助けていきたい気持ちが分かります。

問3 イ

三つ目の段落で、「ころ、ころ、どこ？」という声を聞いたあとに、子犬がしっぽをふり始めています。かい主だと分かったからです。

問4 たくみの心は、雨あがりの空のように、ぱっと明るくなった。

たとえ（比喩）を使って、うれしく晴れやかな気持ちを表しています。心情が分かる一文をさがします。

問5 （例）こまっている生き物や人に、やさしく手を差しのべることの大切さを感じた。

たくみの行動や気持ちと、自分の考えを結びつけて書けていれば正かいです。